

特集
データサイエンスを学ぶ



CONTENTS

- 特集 データサイエンスを学ぶ
樋口 知之 (AI・データサイエンスセンター所長/理工学部教授)
- 第2回学生選書ツアーをLibrariEで開催しました！
- 特別展示「世界難民の日」を開催
- 中央図書館プレゼンホールリニューアル！&無線LAN・PC利用可能エリア拡大！
- 新取資料紹介 中央大学教職員著作目録・資料目録(2020.8~2021.6 取集分)

データサイエンスを学ぶ

樋口知之（AI・データサイエンスセンター所長／理工学部教授）

新興のデータサイエンスとは どのような学問なのか？

みなさんはデータサイエンスというとどんな学問分野をイメージするでしょうか？データを分析するための手法の基礎となる統計学や人工知能（以後、AI と略します）は関連していると想像しますね。データ分析にはコンピュータを使いますから、コンピュータの利用に関わるスキルも必須と考えるでしょう。例えば、プログラミングですね。またデータといっても分野ごとに量も種類も性質も大きく違うので、データの背後にある知識も大切と主張されるかもしれません。データサイエンスは、これらの素養で構成される複合的な学問になります。あえて一言でデータサイエンスを定義すれば、「データを適切に分析し、新しい価値を創造する学問」になります。でもみなさんは、その定義だとすべての学問にかかわって広すぎではと思われるでしょう。そのとおりです。既存の学問分野を縦糸とすると、データサイエンスはそれらを横断する、横糸のような学問なので、どの分野にも関係するのは当然です。従って、どの学部の学生さんにも学べるよう、中央大学では 2021 年度から、全学部生を対象とした「AI・データサイエンス全学プログラム」を開始しました。卒業単位として認められる科目群を体系的に全学部提供するのは、私立総合大学では初めてのことになります。このことについては、後にもう一度触れます。

もう少しデータサイエンスの定義や位置づけを議論してみましょう。データサイエンスの習得には、メディアで盛んに取り上げられる深層学習（ディープラーニング）に代表されるような、「最先端の AI 技術を開発する力」も不可欠なのではないでしょうか？この疑問点も、数学の苦手な学生さんがデータサイエンスを避ける理由の一つなので、分かりやすく説明したいと思います。話は飛躍しますが、おいしい料理をつくる想像をしてください。おいしい料理には、良い素材、使いやすい調理道具、優れた調理人が必要です。しかしながら、“おいしい”は絶対的な価値観でなく、相対的なものです。人によって大きく異なりますし、同じ人でも時間と場所によって“おいしさ”が変化することは万人の認め

ることです。そうすると、食事をする人との会話やその表情から、どんな料理が喜ばれそうか、そしてどんなレシピが良さそうかなど、過去の経験を踏まえて適切に判断する能力はとても重要です。AI 技術者が優れた調理道具をつくる人なら、データサイエンティストはお客さんに合わせた良いレシピをデザインできる人になります。そうすると、最先端の AI 技術を開発する人材よりも、AI 技術を上手に活用する人材のほうが量的に必要なのは、社会や産業の多様性を考えると明らかです。よって、データサイエンティストの採用をさまざまな企業がまさに今、力を入れているわけです。

大学でのデータサイエンス科目群とは

大学でデータサイエンスをどう学ぶか、具体的に内容を解説していきましょう。データサイエンティストには、「データサイエンス力」「データエンジニアリング力」「ビジネス力」の3つの力を備えることが求められます。データサイエンス力の基盤となるのは、統計学、機械学習、最適化といった、データを処理する



方法論の学問です。当然、それらを理解するには、解析や線形代数といった数学の理解が前提となります。ただ強調しておきたいのは、統計学、機械学習、最適化の基本的理解に必要な数学は、微分や行列演算を中心とするものが多く、みなさんが思うほどハードルは高くありません。

データエンジニアリング力は、データを処理する方法をコンピュータの上に実現する技術に相当します。そのためにはコンピュータの基本的な構造や演算機能の仕組みといった、ITリテラシーは当然必須になります。それに加えて、プログラミングやデータベースを扱うためのコマンド群の習得が“ある程度”求められます。ここで“ある程度”と言ったのは、前述した3つの力すべてを十分に備えることは大変難しいため、得意とする各力の比重がデータサイエンティストごとに異なる現状があるからです。データサイエンス教育体制の確立が遅れた日本では、特にこの傾向が顕著であるため、データサイエンティストの個性を生かしたチーム作りが企業において鍵になります。

ビジネス力とはよく「現場力」とも産業界では言われます。企業の現場では、「利益がでること」「お客さんに喜んでもらうこと」「新しいビジネスを生み出すこと」「社会の役にたつこと」など、学術研究の現場では「新発見につながること」「技術が改善されること」「興味深い研究領域が生まれること」などが大切な観点、すなわち新しい価値創造になります。そのために現場では、さまざまな課題解決を求められます。課題の背景をよく理解した上で関連する複数の課題を整理し、課題を適切に設定し解決にまで到達する力がビジネス力になります。

データサイエンスを中央大学で どう身につけるか？

中央大学の「AI・データサイエンス全学プログラム」についてはいくつかの情報収集ルートがありますが、例えば受験生向けに開設された以下のサイトをご覧ください。

https://www.chuo-u.ac.jp/connect/future/ai_datascience/



公式パンフレットは以下から得ることができます。

https://www.chuo-u.ac.jp/uploads/2021/02/aboutus_efforts_ai_and_ds_education_01.pdf



これらのサイトにあるプログラムのイメージ図からも明らかのように、すべての学部学生が学べ、知識とスキルをレベルアップできるシステムが用意されています。まずみなさんは、「AI・データサイエンスと現代社会」から学んでください。ここでは、AI・データサイエンスに関わる技術だけでなく、AI・データサイエンス技術を社会に溶け込ませていく上での課題が丁寧に解説されます。例えば、倫理的・法的・社会的課題 (Ethical, Legal and Social Issues) の頭文字をとって ELSI と略して言われる、新規科学技術を社会実装する際に生じうる課題は代表的なものです。文部科学省では、「数理・データサイエンス・AI (リテラシーレベル) モデルカリキュラム～データ思考の涵養～」を 2020 年度に決めました。また、文部科学省の実施するプロジェクトでは、そのカリキュラムに完全準拠した教科書の出版にも取り組み、2021 年 6 月にリテラシーレベルの準教科書『教養としてのデータサイエンス』が刊行されました。私は、その書籍の第一章と第二章を執筆しました。「AI・データサイエンスと現代社会」の参考文献に指定され、数多くの大学においても AI・データサイエンスを学ぶための標準テキストになっています。

「AI・データサイエンス総合」では、各産業界の第一線で活躍している実務家からの事例紹介とともに、講師との議論を通じて総合的な理解を深めることを目指しています。これは、前述したビジネス力を学ぶ場の提供になります。リテラシーレベルの習得後には、「ツール科目群」が用意されています。これらは、前述したデータエンジニアリング力を学ぶ場になります。その後、「AI・データサイエンス演習」では、PBL とよばれる Project (or Problem) Based Learning を実体験してもらうこととなります。この演習科目群の習得は、みなさんの就活やその後の自己能力の発展に確実に役立つに違いありません。これらの科目を学んだ後には、各学部の特徴に即した発展的な科目もあり、所定の要件を充足した者に対して、中央大学は修了証を発行します。この修了証を得たみなさんは、きっと自信をもって社会に飛び込むことができるでしょう。

未来の学問分野を学ぶ図書館

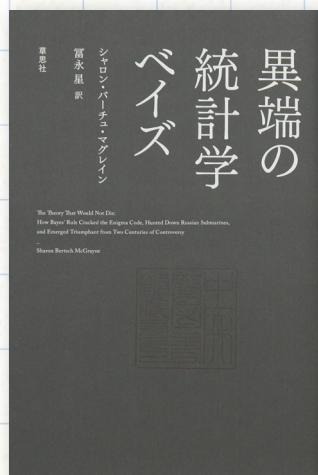
私の専門は、今の言葉ではデータサイエンスになります。その中でも、ベイズ統計学を基盤とする機械学習になります。ベイズ統計学とは、統計学と名前がついているように統計学の一分野で、その歴史は約 300 年にもなる古いものです。みなさんがこれまで勉強してきた統計学は頻度論と呼ばれ、ベイズ統計学は確率

に関する考え方が頻度論と全く異なることもあり、統計学において長らく日陰者でした。確率の考え方の違いを身近な例で考えてみましょう。みなさんは、雨の降る確率は 20% という天気予報の情報をどのように受け止めますか？同様の気象条件では 10 回中 2 回は雨が降るかも知れないと、頻度論的な確率の解釈で納得していますか？多くの方は直感的に、20% ならたぶん雨は降らないだろうから傘は持参しない、という判断をするでしょう。この意思決定は、確率を頻度でなく、不確実性（逆に言えば主張の信頼度）をはかる尺度と捉える、ベイズ統計学にもとづいています。このように、社会生活における確率の使い方は非常に曖昧なもので、人は状況に合わせて“適当”に使っています。

ベイズ統計学は統計学の分野ではずっと非主流派で、頻度論主義者からは徹底的に攻撃されてきました。一方統計学以外の分野においては、不確実性を体系的に取り扱うための枠組みとして有用であることが認識されていました。近年の大型計算機の性能向上を積極的に活用した画期的なアルゴリズムの提案により、現在ベイズ統計学は、統計学にとどまらず科学全般において大きな存在感を示しています。例えば、重力波の初観測やブラックホールの初撮像など、大規模な最先端計測における新発見はベイズ統計学無しにはありえません。このあたりは、『異端の統計学 ベイズ』を読

まれると良いでしょう。大量のデータを利用できる時代においては、機械学習と呼ばれる、データ分析のための手法群が必要不可欠です。機械学習では、データの予測・判別・分類といった機能の実現に複雑な関数や確率分布を採用し、ベイズ統計学が統一的な視点を与えてくれます。この概念を体系的にまとめた書籍が、『パターン認識と機械学習』になります。この本は、機械学習を専門とする大学院生にとってはバイブルの書籍で、私はこの書籍の監訳者の一人を務めました。

このように今となつては完全に認知されたベイズ統計学や機械学習ですが、私が学生・大学院生であった 1980 年代には、直接関連する学部はおろか学科も日本には皆無でした。国内では研究室レベルが点在するだけという、知識を体系的に得ようとする若者にとっては羅針盤も何も無い、五里霧中の状況でした。そのような五里霧中の時に手を差し伸べてくれたのが「知の森」である図書館でした。私は大学の総合図書館に通い、今のようにデジタル検索ができない中、書誌データの活用と実際の書籍を手にとることによる情報収集を地道に行いました。これにより、さまざまな分野におけるデータ分析手法の存在感の違いをまざまざと体得できました。今では自分の欲しい情報に直接アプローチすることが容易ですが、図書館で副次的に得る“雑学”的情報は長期的にはかなり有用であり、その雑学的情報こそが未来の学問の礎となっています。



シャロン・パーチェ・マグレイン著、富永星訳
『異端の統計学 ベイズ』草思社、2013
<所蔵情報>
(<https://ufinity.library.chuo-u.ac.jp/iwjs0002opc/BB01418992>)



北川源四郎、竹村彰通編；内田誠一〔ほか〕著
『教養としてのデータサイエンス』講談社、2021
<所蔵情報>
(<https://ufinity.library.chuo-u.ac.jp/iwjs0002opc/BB01632171>)



C.M. ビショップ著
『パターン認識と機械学習』丸善出版、2012
<所蔵情報>
(<https://ufinity.library.chuo-u.ac.jp/iwjs0002opc/BB01522475>)



第2回

学生選書ツアーを LibrariE で開催しました!



利用方法

図書館データベースリスト > LibrariE > 学認でログイン
 本学では、2冊まで15日間の貸出が可能です。
 自宅から、タブレットやスマホでもアクセスできます!



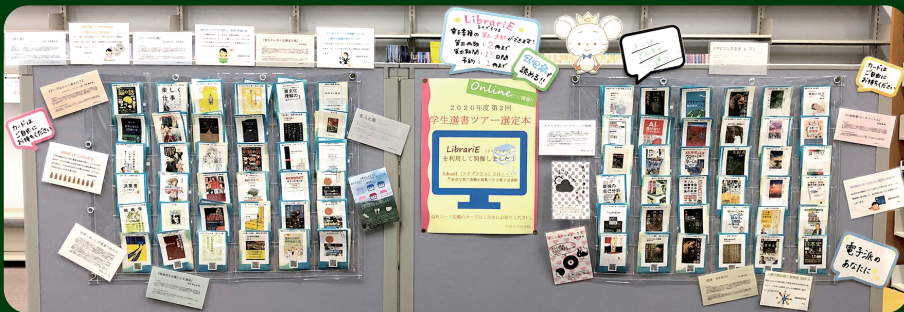
2021年2月9日(火)～16日(火)に、オンラインで学生選書ツアーを実施しました!

今回は新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、自宅からも貸出・閲覧することができる電子図書館サービス LibrariE (ライブラリエ) を導入し、購入する電子書籍を参加学生にオンラインで選んでもらう新しい形式となりました。

応募者多数の中、抽選で当選した9名には専用サイトにアクセスしてもらい、豊富なコンテンツから購入する電子書籍を選び抜いてもらいました。現在、合計77点の電子書籍が購入されています。

展示の様子

ツアー終了後には POP (紹介文) を作成してもらいました。
 中央図書館4階や理工学部分館、国際情報学部図書室に展示しています!



中央図書館4階



参加者作成の POP (一例)



理工学部分館



国際情報学部図書室

購入本リスト (一例)

- マリオネットの罫 (文春ウェブ文庫)
- チーズはどこへ消えた? 改訂
- ディズニー魔法の会計 デジタル版
- 小説言の葉の庭 (角川e文庫)
- 日本史 10人の女たち 電子版 など

参加した感想

今回、選書ツアーに初めて参加しましたが、自分で本を選ぶのはとても楽しく、充実した時間を過ごすことができました。どの本を選ぶかはかなり悩みましたが、自分が選んだ本を多くの利用者の方々に読んでもらえるのは嬉しいです。学生が選書をするという機会は貴重だと思うので、このような取り組みは今後も続けていって欲しいです。
 文学部 Y.M. さん

普通の本という形態では重かったり、大きかったりして借りにくいような本 (図鑑など) でも、電子書籍の形であれば手軽に借りられるし、色がきれいに見られたり、ページが歪まず、のどや見開きもはっきりと見ることができると、強みであると感じた。
 国際情報学部 H.S. さん

自分が読みたいと思うものに加え、まだ中央大学図書館を使用したことがない一年生や、将来に悩む大学生が読みたいと思う本を選ぶのは難しかった。ただ、自分でそれを選ぶことができる嬉しさもあり、責任と喜びを感じながら選書を行った。
 理工学部 M.M. さん

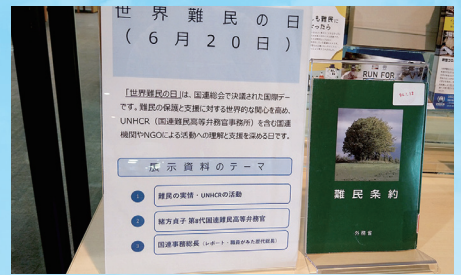
特別展示「世界難民の日」を開催

6月20日の世界難民の日にあわせて、2021年6月19日(土)から7月3日(土)まで、中央図書館では特別展示「世界難民の日」を実施しました。世界難民の日(World Refugee Day)とは、国連が制定した国際デーのひとつで、難民の保護と支援に対する世界的な関心を高め、国連機関やNGOによる活動に理解と支援を深めることを目的としています。世界にはおよそ8,240万人の難民がいると推定されます(2020年末時点)。

この特別展示には、中央図書館と国際機関資料室から選んだ関連資料35点が展示されました。その中には、国連難民高等弁務官事務所(UHCR)から本展示のために寄贈された図書2冊『世界の難民をたすける30の方法』・『サンタになった魔法使い:ドクター・カナイと仲間たち』も含まれます。

本展示は、難民問題とその分野で活動するUHCRを紹介しつつ、難民を生む原因となる紛争を解決する手段を提示する資料や、日本人で初めて国連難民高等弁務官に就任した緒方貞子氏の回顧録『紛争と難民:緒方貞子の回想』なども展示しました。さらには、歴代の国連事務総長の関連資料も並べ、国連が取組む課題のひとつから、国連機関・事務総長の任務まで俯瞰できる工夫がされました。

期間中は多くの見学者が展示資料を手にとる姿がみられました。会場では、UHCRが作製した難民の現状を伝えるチラシも配布し、世界の難民問題について知る機会を提供しました。



中央図書館

プレゼンホールリニューアル! & 無線LAN・PC利用可能エリア拡大!

4階プレゼンホール

可動型の机・椅子、ホワイトボードなどの什器類を全面リニューアルし、よりフレキシブルな学習環境が展開できるスペースとなっています。授業・ゼミ、セミナー・講演会などでの利用がない時間帯は、個人利用が可能です。

利用方法等の詳細はこちらから

https://www.chuo-u.ac.jp/library/library_service/tamacampus/chuo/guide/



無線LANとPC利用可能エリアの拡大

無線LAN(CHUO-U)とPC利用可能なエリアが拡大しました。PC充電用のコンセントも増設しましたので、ぜひご利用ください。

利用エリアの確認はこちらから

https://www.chuo-u.ac.jp/library/library_service/tamacampus/chuo/floor/



新収資料紹介

教職員著作目録 2020.8-2021.6 配架図書一覧 () は所属学部等

著者名	書名	出版社	出版年月	配置場所	請求記号
秋山 嘉 (法)	近代を編む：英文学のアプローチ (中央大学人文科学研究所研究叢書 76)	中央大学出版部	2021.3	中央書庫/開架	930.2/A38
秋吉 貴雄 (法), 伊藤 修一郎	公共政策学の基礎 第3版 (有斐閣ブックス 106)	有斐閣	2020.12	中央書庫/開架	301/A38
浅倉 和俊 (商), 渡辺 竜介	公認会計士試験財務会計論の重点詳解 第4版	中央経済社	2020.9	中央書庫/開架	336.97/A85
フォルカー・リップ 新井 誠 (法)	人間とその権利：ドイツ私法における理論と実践	日本評論社	2020.11	中央書庫/ 市ヶ谷法務	324.934/L67
新井 誠 (法)	Liber amicorum Makoto Arai	Nomos	2015	中央書庫/ 市ヶ谷法務	340/A65/L69
有賀 裕二 (名)	価値創造と分散型市場設計 (研究叢書 / 中央大学企業研究所編 42)	中央大学出版部	2020.7	中央書庫/開架	331.19/A79
方方 飯塚 容 (文)	武漢日記：封鎖下60日の確の記録	河出書房新社	2020.9	開架	498.6/H81
余華 飯塚 容 (文)	雨に呼ぶ声 Cries in the drizzle	アストラハウス	2020.10	開架	923/Y72
飯田 朝子 (国経) 奇藤 文平	みんなで作る1本の辞書 (たくさんのふしぎ傑作集)	福音館書店	2015.9	開架	815.2/I26
池田 和臣 (名)	源氏物語生々流転：論考と資料	武蔵野書院	2020.3	中央書庫/国文	913.36/I32
池田 賢市 (文)	学びの本質を解きほぐす	新泉社	2021.4	開架/教育学	370.4/I32
池田 正孝 (名)	世界の児童文学をめぐる旅	イクスナレッジ	2020.10	開架	909.3/I32
メグ・レタ・ジョーンズ 石井 夏生利 (国情)	Ctrl+Z忘れられる権利	勁草書房	2021.1	開架/理開	007.3/J72 547.8/J72
石井 夏生利 (国情), 曾我部 貴裕, 森 亮二	個人情報保護法コメンタール	勁草書房	2021.2	中央書庫/国際情報	316.1/I75
石川 晃弘 (名)	ロシア、中欧の体制転換：比較社会分析	ロコス	2020.8	開架	302.38/I76
石川 幹子 (研)	グリーンインフラ：地球環境の持続的維持に向けて	中央大学出版部	2020.7	中央書庫/理開	519.85/I76
井田 良 (法務), 大塚 裕史	刑法演習サポート210問	弘文堂	2020.4	中央書庫/開架	326.5/I18
井田 良 (法務)	講義刑法学・各論 第2版	有斐閣	2020.12	中央書庫/開架	326.2/I18
井田 良 (法務), 佐伯 仁志 (法務)	刑事事例演習教材 第3版	有斐閣	2020.12	開架/法学部図書室	326/I18
70周年記念叢書編集委員会 伊藤 潤典 (法務), 井田 良 (法務), 工藤 達朗 (法務), 小林 学 (法務), 佐藤 信行 (法務), 小井 誠 (法), 野田 博 (法), 山田 八千子 (法務), 丸丸 祥子 (法), 安念 潤司 (法務), 植野 妙美子 (名), 北井 辰弥 (法), 柏木 昇 (法務), 堤 和通 (総), 川澄 貴樹 (法) ほか	グローバル化を超えて：アジア・太平洋地域における比較法研究の将来 (日本比較法研究所研究叢書 120)	中央大学出版部	2020.3	中央書庫/開架	321.9/G95
藤 公一郎, 稲継 裕昭 今村 都南雄 (名) ほか	オーラルヒストリー日本の行政学	勁草書房	2020.11	中央書庫/ 市ヶ谷法務	317.1/A19
入矢 玲子 (職)	プロ司書の検索術：「本当に欲しかった情報」の見つけ方 (図書館サポートフォーラムシリーズ)	日外アソシエーツ	2020.10	中央書庫/開架	014.9/I64
岩田 重則 (総)	靖国神社論	青土社	2020.8	中央書庫/開架	175.1/I97
上野 清貴 (商)	会計構造の深層論：真の複式簿記システムの探究	中央経済社	2020.8	中央書庫/開架	336.9/U45
植野 妙美子 (名)	男女平等原則の普遍性：日仏比較を通して (日本比較法研究所研究叢書 124)	中央大学出版部	2021.3	中央書庫/開架	367.2/U45
牛嶋 仁 (法), 辻 雄一郎	アメリカ気候変動法と政策：カリフォルニア州を中心に	勁草書房	2021.2	中央書庫/開架	519.5/Ts41
榎本 泰子 (文)	「敦煌」と日本人：シルクロードにたどる戦後の日中関係 (中公選書 117)	中央公論新社	2021.3	開架/中国言語	319.1022/E63
遠藤 研一郎 (法)	基本テキスト民法総則 第2版	中央経済社	2020.6	中央書庫/開架	324.1/E59
大杉 謙一 (法務), 伊藤 靖史	会社法 第5版 (Legal quest)	有斐閣	2021.3	中央書庫/開架	325.2/I89
大田 美和 (文)	世界の果てまでも：大田美和思想集：ひらく、つながる、うまれる。	北冬舎	2020.4	中央書庫/開架	914.6/O81
大淵 博義 (名), 安田 京子	国税の常識 第22版 (知っておきたい)	税務経理協会	2020.8	開架	345/O19
岡崎 裕史 (国情)	5G：大容量・低遅延・多接続のしくみ (ブルーバックス B-2144)	講談社	2020.7	開架/国際情報	ブルーバックス/ B-2144
岡崎 裕史 (国情)	絵でわかるサイバーセキュリティ (絵でわかるシリーズ)	講談社	2020.6	開架/国際情報	549.92/O39
岡崎 裕史 (国情)	スマホがあれば広がる世界	宝島社	2020.9	開架/国際情報	694.6/O39
岡崎 裕史 (国情)	ITパスポート合格教本	技術評論社	2020.12	開架/国際情報	549.92/O39 007.6/O39
岡崎 裕史 (国情)	はじめてのスマホ「やりたい!」がすぐできるスマホ用語100 (生活実用シリーズ NHK趣味どき!MOOK)	NHK出版	2021.3	国際情報	694.6/N77
岡崎 裕史 (国情)	大学教授、発達障害の子を育てる (光文社新書 1117)	光文社	2021.2	開架/国際情報	916/O39
岡崎 裕史 (国情)	思考からの逃走 = Escape from thought	日経BP日本経済新聞出版本部	2021.2	開架/国際情報	007.3/O39 401/O39
小賀野 晶一 (法), 亀井 隆太	基本講義契約・事務管理・不当利得・不法行為	成文堂	2021.3	中央書庫/開架	324.5/O21
小賀野 晶一 (法)	基本講義民法総則・民法概論 第2版	成文堂	2021.1	中央書庫/開架	324/O21
小賀野 晶一 (法)	基本講義環境問題・環境法 第2版	成文堂	2021.1	中央書庫/開架	519.5/O21
奥田 安弘 (法務)	国際家族法：準拠法・手続法・国籍法・戸籍法・入管法 第2版	明石書店	2020.6	中央書庫/ 市ヶ谷法務	329.83/O54
長田 光展 (名)	死別の悲しみを乗り越えるために：体験から学びとること	彩流社	2020.6	開架	146.8/O72
小塩 節 (名)	森鷗外：随想	青旗書房	2020.8	開架	910.26/Mc45/ 077
ツヴェタン・トドロフ 小野 滯 (文), 大谷 尚文	野蠻への恐怖、文明への怨念：「文明の衝突」論を超えて「文化の出会い」を考える	新評論	2020.8	開架	361.6/To18
加藤 新太郎 (法務), 松田 典浩	裁判官が説く民事裁判実務の重要論点 非典型担保編	第一法規	2020.2	中央書庫/ 市ヶ谷法務	327.2/Ka86
加藤 新太郎 (法務), 吉川 昌寛	裁判官が説く民事裁判実務の重要論点 継続的契約編	第一法規	2020.8	中央書庫/ 市ヶ谷法務	327.2/Ka86
加藤 新太郎 (法務), 谷口 園恵	裁判官が説く民事裁判実務の重要論点 交通損害賠償編	第一法規	2021.3	中央書庫/ 市ヶ谷法務	327.2/Ka86
唐津 博 (法), 有田 謙司	ニューレクチャー労働法 第3版	成文堂	2020.11	中央書庫/ 法学部図書室	366.14/A77
川田 知子 (法), 長谷川 聡	労働法 = Labor law	弘文堂	2020.10	中央書庫/開架	366.14/Ka92
川戸 道昭 (名)	幕末明治翻訳書事典：文学・伝記・外国語リーダー篇 第1巻 江戸期～明治十九年	国書刊行会	2020.12	参考	MO27.34/Ka98
岸 真清 (名), 島 和俊	規制改革の未来：地方創生の経済政策	東海大学出版部	2020.3	中央書庫/開架	332.106/KI56
国本 伊代 (名)	メキシコ2018～19年：新自由主義体制の変革に挑む政権の成立	新評論	2020.9	開架	312.56/Ku45
古積 健三郎 (法務)	担保物権法	弘文堂	2020.12	中央書庫/開架	324.3/Ko99
小林 謙一 (文)	考古学と歴史学 (中央大学人文科学研究所研究叢書 73)	中央大学出版部	2020.3	中央書庫/開架	210.02/Ko12
中塚 武, 若林 邦彦, 藤上 昇 小林 謙一 (文) ほか	先史・古代の気候と社会変化 (気候変動から読みなおす日本史 3)	蘭川書店	2020.9	中央書庫/日本史	210.1/Ki22
小林 学 (法務), 佐藤 鉄男 (法務) ほか	民事裁判の法理と実践：加藤新太郎先生古稀祝賀論文集	弘文堂	2020.9	中央書庫/ 市ヶ谷法務	327.2/Mi24
小林 道正 (名)	学びなおす算数 (ちくま新書 1545)	筑摩書房	2021.1	開架/理開	410/Ko12
佐伯 仁志 (法務), 長谷部 恭男	有斐閣判例六法 令和3年版	有斐閣	2020.10	開架/市ヶ谷法務	J320.91/H92
佐伯 仁志 (法務), 長谷部 恭男	有斐閣判例六法 professional 令和3年版01～02	有斐閣	2020.11	参考/市ヶ谷法務	J320.91/Y96
佐伯 仁志 (法務), 只木 誠 (法), 高橋 則夫	刑事法の理論と実務 2	成文堂	2020.6	中央書庫/開架	326.5/Sa14
酒井 克彦 (商)	裁判例からみる税務調査	大蔵財務協会	2020.4	中央書庫/開架	345.1/Sa29
酒井 克彦 (商)	プログレッシブ税務会計論 4 会計処理要件 (経理要件・帳簿要件)	中央経済社	2020.7	中央書庫/開架	345.3/Sa29
酒井 克彦 (法務)	キャッチアップ企業法務・税務コンプライアンス：改正会社法対応	ぎょうせい	2020.12	中央書庫/開架	336.98/Sa29
酒井 克彦 (法務)	裁判例からみる保険税務	大蔵財務協会	2021.1	開架/市ヶ谷法務	336.98/Sa29
坂田 聡 (文)	古文書の伝来と歴史の創造：由緒論から読み解く山国文書の世界	高志書院	2020.12	中央書庫/日本史	216.2/Sa37
日本証券経済研究所 佐々木 隆文 (総), 花枝 秀樹 ほか	日本のコーポレートファイナンス：サーベイデータによる分析	白桃書房	2020.11	中央書庫	336.8/N77
支え合う社会研究会, 佐藤 拓也 (経), 村上 研一 (商) ほか	資本主義を改革する経済政策	かもがわ出版	2021.1	開架	332.106/Sa71
佐藤 博樹 (戦略), 今野 浩一郎	人事管理入門 第3版 (マネジメント・テキスト)	日経BP日本経済新聞出版本部	2020.5	開架/戦略経営	336.4/I45
佐藤 博樹 (戦略), 松浦 民恵	働き方改革の基本 (シリーズダイバーシティ経営)	中央経済社	2020.10	中央書庫/開架	336.4/Sa85

著者名	書名	出版社	出版年月	配置場所	請求記号
椎橋 隆幸 (名)	編 「第四修正関係」：捜索・押収 3：米国刑事判例の動向：合衆国最高裁判所判決 7 (日本比較法研究所研究叢書 119)	中央大学出版部	2020.3	中央書庫/開架	327.953/A95
塩見 英治 (名)	著 司馬遼太郎「粟の花の沖」と北前船	風詠社	2021.2	開架	683.21/Sh74
藤原 正博 (総)	編著 テキストブック租税論	創成社	2020.11	開架/国際情報	345/Sh67
新波 照雄 (名)	著 中近世ハンザ都市の展開 (中央大学学術図書 101)	中央大学出版部	2020.12	中央書庫/理開	332.34/Sh15
柴田 英樹 (総)	著 新西洋経済史講義：史的唯物論入門 第2版	学文社	2020.3	中央書庫/開架	332.3/Sh18
首藤 明和 (文)	著 中国のムスリムからみる中国：Nルーマンの社会システム理論から (中国社会科学叢書：21世紀「大国」の実態と展望 6)	明石書店	2020.10	中央書庫/社会学	302.22/C62
新免 康 (文)	編著 ユーラシアにおける移動・交流と社会・文化変容	中央大学出版部	2021.3	中央書庫/開架	302.1/C66
鈴木 彰雄 (法)	著 刑法論集 (日本比較法研究所研究叢書 121)	中央大学出版部	2020.12	中央書庫/開架	326/Su96
妹尾 達彦 (文)	編著 アフロ・ユーラシア大陸の都市と社会 (中央大学人文科学研究研究所研究叢書 74)	中央大学出版部	2020.3	中央書庫/開架	204/C66
高尾 直知 (文)	著 「嘆き (モーニング)」はホーソーンによく似合う：mourning becomes Hawthorne	中央大学出版部	2020.8	中央書庫/英文	930.29/H45/Ta48
ジャン・ボダン 高橋 薫 (名)	著 国家論全六巻	鳩寂居	2020.9	中央書庫	311/B61
高橋 薫 (名)	著 フランス十六世紀漂泊	水声社	2020.4	中央書庫/開架	235.05/Ta33
高橋 薫 (名)	著 フランス十六世紀における抵抗の諸相：ドービニエからコキユヘ	水声社	2020.11	中央書庫/開架	950.2/Ta33
高村 幹 (戦術), 坂爪 洋美	著 管理職の役割 (シリーズダイバーシティ経営)	中央経済社	2020.8	開架/戦略経営	336.4/Sh88
田口 善弘 (理)	著 生命はデジタルでできている：情報から見た新しい生命像 (ブルーバックス B-2136)	講談社	2020.5	開架/国際情報	ブルーバックス/B-2136
只木 誠 (法), グンナー・デュトグ, 高橋 照雄 (法務), 古田 裕清 (法), 井田 英樹 (法務), 佐伯 仁志 (法務)	編 終末期医療、安楽死、尊厳死に関する総合的研究：日本比較法研究所日独国際シンポジウム = Menschenwürde und Selbstbestimmung in der medizinischen Versorgung am Lebensende (日本比較法研究所研究叢書 123)	中央大学出版部	2021.3	中央書庫/開架	490.15/Ta16
谷口 洋志 (総)	編著 中国政治経済の構造的転換 (中央大学経済学研究研究所研究叢書 77)	中央大学出版部	2020.12	中央書庫/開架	332.22/Ta87
田村 威文 (総), 中條 祐介	著 会計学的手法：実証・分析・実験によるアプローチ 第2版	中央経済社	2021.3	中央書庫/開架	336.9/Ta82
田村 裕 (理), 中野 敬介, 仙石 正和	共著 ネットワーク工学 (電子情報通信レクチャーシリーズ / 電子情報通信学会編 B-9)	コロナ社	2020.6	国際情報/理開	547/D59
土橋 茂樹 (文)	編 存在論の再検討 (シリーズ・古典転生 20)	月曜社	2020.2	中央書庫/開架	111/Ts26
寺本 剛 (理), 吉永 明弘	編 環境倫理学 = Environmental ethics	昭和堂	2020.10	開架/理開	519.5/Y92 519/Y92
富岡 幸雄 (名)	著 検証消費課税論	中央経済社	2020.6	中央書庫	345.7/To56
鳥居 伸好 (総)	著 なるほどマール経：時の流れを読む経済学	桜井書店	2020.4	中央書庫/開架	331.6/To67
永井 和之 (名), 森 光 (法)	編 法學入門 第3版	中央経済社	2020.3	中央書庫/開架	321/N14
永見 文雄 (名), 小野 潮 (文)	編著 ルソー論集：ルソーを知る、ルソーから知る (中央大学人文科学研究研究所研究叢書 75)	中央大学出版部	2021.3	中央書庫/開架	135.48/N15
鳴子 博子 (総)	編著 ジンダー・暴力・権力：水平関係から水平・垂直関係へ	晃洋書房	2020.2	中央書庫/開架	367.2/N53
新田 秀樹 (法), 本沢 巳代子	編 トピック社会保障法 2021 第15版	不磨書房	2021.4	中央書庫/開架	364/Mo93
Chang, Dukjin, 野宮 大志郎 (文) ほか	編 Urban development and social change in megacities in East Asia : Seoul, Tokyo and Shanghai in the past and present / edited by Dukjin Chang, Daisiro Nomiyama, Haidong Zhang (Research series 3)	中央大学出版部	2021	中央書庫/開架	301.36/U72
畑尻 剛 (法)	著 ベーター・ヘーベルレの憲法論：立憲国家における憲法裁判を中心に (日本比較法研究所研究叢書 122)	中央大学出版部	2021.1	中央書庫/開架	323.34/H41
服部 龍二 (総)	著 外交を記録し、公開する：なぜ公文書管理が重要なのか	東京大学出版会	2020.3	中央書庫/開架	317.22/H44
服部 龍二 (総), 寺田 輝介	著 竹下外交・ベルン日本大使公邸占拠事件・朝鮮半島問題：外交回想録	吉田書店	2020.10	中央書庫/開架	319.1/Te43
中央大学人文科学研究 所 早坂 七緒 (名), 若本 剛 (総), 伊藤 洋司 (総), 小林 正幸 (法), 森岡 実穂 (総)	編 芸術のリノベーション：オペラ・文学・映画 (中央大学人文科学研究研究所研究叢書 72)	中央大学出版部	2020.3	中央書庫/開架	702.06/C66
早田 幸政 (理)	編著 教員養成教育の質保証への提言：養成・採用・研修の一体改革への取り組み	ミネルヴァ書房	2020.11	中央書庫	373.7/H49
中央大学国際情報学部 平野 晋 (国情), 保坂 俊司 (国情), 矢島 壮平 (国情), 西村 篤子 (国情), 橋本 健広 (国情), 齋藤 裕紀恵 (国情), 小向 太郎 (国情), 若原 道洋 (国情), 石井 夏生利 (国情), 中島 実希 (国情), 中村 真利子 (国情), 京山 亞史 (国情), 小花 藍輝 (国情), 吉田 雅裕 (国情), 飯尾 淳 (国情), 松崎 和賢 (国情), 角田 篤素 (国情), 須藤 修 (国情), 村田 雅之 (国情), 岡崎 裕史 (国情), 松野 良一 (国情)	編 国際情報学入門	ミネルヴァ書房	2020.5	中央書庫/開架	401/C66
廣岡 守穂 (法)	著 日本政治思想史	有信堂高文社	2020.7	中央書庫/開架	311.21/H71
廣岡 守穂 (法)	著 日本政治思想史 続	有信堂高文社	2020.12	中央書庫/開架	311.21/H71
廣岡 守穂 (法)	編著 社会のなかの文学 (中央大学政策文化総合研究所研究叢書 29)	中央大学出版部	2021.1	中央書庫/開架	302.1/C66
福原 紀彦 (法務)	著 企業法総論：総則：商法「総論・総則」・会社法総則等 第2版 (企業法要綱 1)	文眞堂	2020.7	中央書庫/開架	325.1/F75
福原 紀彦 (法務)	著 企業取引法：商法(商行為・海商)・保険法 金融取引・消費者取引・電子商取引と法 第2版 (企業法要綱 2)	文眞堂	2020.12	中央書庫/開架	325.3/F75
藤田 岳彦 (理), 吉田 直広	著 大学1・2年生のためのすぐわかる統計学	東京図書	2020.10	開架/理開	417.5/F67
古田 裕清 (法)	著 西洋哲学の基本概念と和語の世界：法律と科学の背後にある人間観と自然観	中央経済社	2020.10	中央書庫/開架	130/F94
升田 純 (法)	著 写真の撮影・利用をめぐる紛争と法理：肖像権・著作権・著作人格権、パブリシティ、プライバシー、名誉毀損等の判例	民法法研究会	2020.3	中央書庫/開架	316.1/Ma66
升田 純 (法)	著 名誉毀損判例・実務全書：判例分析からみる法理と実務	民法法研究会	2021.2	開架/市ヶ谷法務	326.25/Ma66
丸山 秀平 (法務)	著 事例で学ぶ手形法・小切手法 第5版	法学書院	2020.4	中央書庫/開架	325.6/Ma59
丸山 秀平 (法務), 藤島 肇	著 全訂株式会社法概論	中央経済社	2020.5	中央書庫/開架	325.24/Ma59
三浦 治 (法)	著 基本テキスト会社法 第2版	中央経済社	2020.4	中央書庫/開架	325.2/Mi67
三浦 俊彦 (商), 齋藤 通貴	編著 文化を競争力とするマーケティング：カルチャー・コンピタンスの戦略原理	中央経済社	2020.3	開架/戦略経営	675.2/Sa25
三浦 俊彦 (商), 原田 保, 古賀 広志	編著 地域デザインモデルの研究：理論構築のための基本と展開 (地域デザイン学会叢書 8)	学文社	2020.9	開架	601.1/H32
三浦 信孝 (名), 藤原 力	著 加藤周一を21世紀に引き継ぐために：加藤周一生誕百年記念国際シンポジウム講演録	水声社	2020.9	中央書庫	910.26/Ka86/Mi67
宮野 壽 (文)	編著 有権者と政治 (中央大学社会科学研究所研究叢書 40)	中央大学出版部	2021.3	中央書庫/開架	312.1/Mi79
宮岡 純一 (文)	編 歴史資源としての城・城下町 (岩田書店ブックレット 歴史考古学系 H-30)	岩田書店	2021.2	開架/日本史	701.9/Mi77
ペルンハルト・グロスフェルト 山内 惟介 (名)	著 標と数の文化化：時間軸と空間軸から数を眺めよう (日本比較法研究所訳叢書 85)	中央大学出版部	2020.9	中央書庫/開架	321.9/G88
山内 惟介 (名), 佐藤 文彦 (法)	編 標準国際私法	信山社	2020.4	中央書庫/開架	329.8/Y46
山口 典美 (文)	著 こころと身体の心理学 (岩波ジュニア新書 923)	岩波書店	2020.9	中央書庫/開架	141.2/Y24
山口 典美 (文), 河野 哲也	編 顔身体学ハンドブック	東京大学出版会	2021.3	中央書庫/開架	002/Ko76
山田 省三 (名), 石井 保雄	編著 トピック労働法	信山社	2020.4	中央書庫/開架	366.14/Y19
山田 省三 (名) ほか	著 表現の自由と学問の自由：日本学術会議問題の背景	社会評論社	2021.1	開架/国際情報	377.11/Y84 377.1/Y84
山田 辰己 (商)	著 的確な実務判断を可能にするIFRSの本質 第3巻	税務経理協会	2020.4	中央書庫	336.92/Y19
山田 昌弘 (文)	著 日本の少子化対策はなぜ失敗したのか?：結婚・出産が回避される本当の原因 (光文社新書 1063)	光文社	2020.5	中央書庫/開架	334.31/Y19
山田 昌弘 (文)	著 新製酪産社会 (朝日新書 811)	朝日新聞出版	2021.4	中央書庫/開架	朝日新書/811
横山 佐紀 (文)	著 ミュージアムを知らう：中高生からの美術館・博物館入門	ベリカン社	2020.8	開架	366.29/N53 //キャリア3
吉見 大洋 (総)	編 トランプ時代の世界経済 (中央大学経済学研究研究所研究叢書 76)	中央大学出版部	2020.11	中央書庫/開架	333.6/Y19
李 里花 (総)	編著 朝鮮籍とは何か「トランスナショナル」の視点から	明石書店	2021.1	中央書庫/開架	316.81/R32
藤田 由樹, 亘理 裕 (法)	編著 編組の時代の「管理型」都市計画：自然ひととに配慮した抑制とコントロールのまちづくり	第一法規	2021.2	開架	519.8/W47

* (法)：法学部、(総)：経済学部、(商)：商学部、(理)：理工学部、(文)：文学部、(総)：総合政策学部、(国経)：国際経営学部、(国情)：国際情報学部、(法務)：法務研究科、(戦略)：戦略経営研究科、(研)：研究開発機構教授、(名)：名誉教授、(職)：職員
* スペースの都合上、配置場所は2ヶ所まで表記している。

